

学級SNS「マゴコロブログ」でココロひらこう つなげよう

上越教育大学附属小学校 教諭 水谷 徹平
teppe@gmail.com

キーワード：メディアリテラシー、ソーシャルメディア、SNS活用、情報モラル

1. 従来の課題

現代社会は核家族化や少子・高齢化、利己的な考えの増加などによってコミュニティが消失し、人と人とのかかわりが希薄になっている。子どもたちは異年齢や集団で遊ぶ機会が減少し、携帯電話や携帯型ゲーム機、PCなどの端末から、電子メールや電子掲示板、プロフィールサイトなどでかかわりを求め、問題や犯罪につながる事例も見受けられる。いじめ問題の解消を喫緊の課題とする小学校現場において、ポジティブな感情に随伴したコミュニケーション経験やバーチャルな世界でのトラブルに対応する実践力を培う単元開発が早急に必要である。

2. 目的・目標

本研究では、日常的なSNSの活用から社会性と道徳的心情を高める単元開発を意図する。相手の気持ちを想像し、豊かな人間関係を築くとともに、適切に情報を活用し、主体的に判断して行動できる子どもを育てる要因を明らかにする。

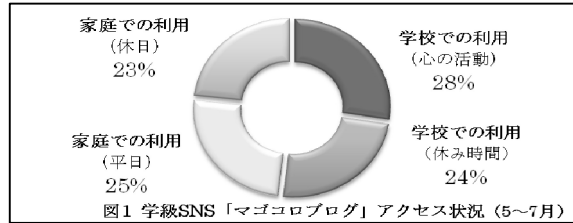
小学校6年生39名と担任教師によるSNS「マゴコロブログ」でのかかわりと、学級での話し合いとを併用して、社会的な立場と個人としての立場を行き来したコミュニケーションを行う。

学校行事の成功に向けた取組、日常生活における課題、総合学習におけるプロジェクト活動といった共通の問題解決を目指し、意見を交流する中で、あたたかなコミュニケーションを積む。情報活用の実践力を含んだ社会性や、情報化の影に対応する道徳的心情を高める上で有効な要因を抽出し、社会性と道徳的心情を育む単元を開発する。

3. 実践内容

3.1 日常的なSNS活用の促進

学級メンバーと担任のみが書き込み・閲覧できるSNSを用意し、週に60分程度、PC教室で一斉に活用場面を設定した。また、教室に10台のPCを設置しておき、休み時間も自由に活用できる環境を整えるとともに、家庭での利用も促した。当学級のネット端末家庭普及率は100%、児童のネット接続端末所有率は80%以上であった。運用を開始した4月18日から、7月21日で、965件の日記、82件のフォトアルバム、86件のコミュニティ（うち71件のトピック、26件のアンケート、1,220件のコメント）、105件のレビューが公開され、盛んにコメントや「いいね」を互いに付け、コミュニケーションを図っている。運営サイトのアクセス分析によると、5～7月のアクセス（累積閲覧総数）は149,390件、学校滞在中は77,160件、家庭では72,195件であった。授業場面で時間を保証した13回に対して一人平均24件の日記をアップしていること、授業時間の活用28%、休み時間での活用24%、家庭での平日利用25%、休日が23%とほぼ拮抗した割合（図1）であることから、児童が学校や家庭で日常的に使用する状態であると言える。



最高のボブラオリンピック			
日付	2013年05月27日(月)	作成者	tetsu
ボブラオリンピック終了。オープニングのtomomoさんのほきはきした司会、堂々としたハーレキンの開会宣言やLBXさんのスローガン発表。実はこの時点でもうすでにウルウルしてました...かっこすぎです。～中略～			
ファイナーレで応援団長が涙で何度も止まりながらも、枯れた声でみんなが付けてくれたからこそがんばってこれたことを感謝する言葉...。先生も涙が止まりませんでした。あおちゃん☆さん、桜銀閣さん、Graceさん、サイコーだったよ！もちろん競技で勝てたのもみんなが頑張ったからだし、すごくうれしいけど、なによりうれしいのは応援団やボブラ、ミュージックだけじゃなくて、みんながそれぞれ100%以上の力を出し切っていたなあ...って思えること。担任として感無量でした。みんなと一緒にのクラスで本当によかった。赤組、6の2、サイコーです。			
本当に赤組最高です☆リレーでチームは違うけど、6分をきれたのは感動しました!!			Azumi
2013年05月27日(月) 12時19分			
6-2サイコー			vocal@shiho.
2013年05月27日(月) 12時23分			
私も、感動しました。			Miho
2013年05月27日(月) 13時40分			
リレーすごかった!! 5分って...すごっ(・o・)6			つちのこ。
-2パンザイ(^@)/			
2013年05月27日(月) 14時16分			
ホントホント リレーすごかった～～			Ema ↓
2013年05月27日(月) 15時07分			
リレーみんな凄いな喜んでた!!サイコーだったね♪			みーちゃん ↓
2013年05月27日(月) 18時33分			

上記の運動会後の教師の日記やコメントのように、教師からの意見や励ましを学級全体や子ども個別に伝え、あたたかなコミュニケーションの場となった。

3.2 問題を話し合う場の設定

コミュニティのトピックで、最もコメント数が多かったのは学級の話題であった。また、一つのトピックに対してのコメント数が33.6件と群を抜いて高い。

(表1) 共通の話題に対してコメントが伸びるということは、児童の多くが関心を寄せていると考えられる。チーム毎のプロジェクト活動をしている総合、委員会や学校行事ごとで興味が分かれる特活、個人差の大きい学習は、トピック数は多いがコメント数は少ない。SNS内で、「この問題は学級で話し合いませんか？」という問題提議がされると、学級会を適宜開いて問題を共有してきた。「席替えに

	トピックス数(件)	コメント数(件)	コメント/トピック
学級	15	504	33.6
総合	17	178	10.5
特活	24	168	7.0
学習	7	53	7.6
ブログ	7	49	7.0
悩み	4	39	9.8
その他	19	229	12.1
合計	93	1220	12.5

表1 トピックでの話題の分類

トピック・ポプラ祭でやりたい曲や歌			
やりたい曲!! (@ε@)			
作成日	2013年09月13日(金) 15時51分	作成者	vocal@shiho.
早速歌いたい曲など出していきましょう!案がある人は、ジャンジャン書いていって下さい。			
合唱曲じゃなくていいんだったらHSMIに賛成。合唱曲なら……『夢の世界を』『遠い日の歌』とか良さそう!			
2013 09 13日 金 18 18 Tomomo・ω・			
HSMIやりたいなああっ♪カッコいいし			
2013 09 15日 日 19 27 umi.			
つちのこ。もHSMIがいいと思います☆合唱曲とかだったら、Tomomoさんのやつがいいです!			
09月13日(金)20時45分 つちのこ。			
とりあえず1組もいっしょってことを考えると、HSMIは厳しい			
2013年09月13日(金)21時20分 りょうぼん			
そうだねえ。でも、やりたい!! (=ω=)			
2013年09月14日(土)09時34分 vocal@shiho.			

ついて」、「音楽集会の学級パフォーマンスをどうする」、「騒いだり、粗暴な言動をしたりするのをやめてほしい」、「学級であまり意見を言わない人ももっと学級に参加して…」といったものがあつた。

上記のように、文化祭であるポプラ祭で何をしたいかを子どもたちで相談し、決定するなど、学級で実際に話し合う前の問題提議の場として機能した。

席替えについては、月に1度、学級委員が原案を立てて、担任が承認する形を取っていたが、全員が不満なく席替えをするにはどうしたらいいのか、ネットでもリアルでも盛んに議論された。様々な案が出て、試行しているところであるが、興味深いのはアンケートが立てられ、議論の際の根拠に用いられたことである。意見を言う人、言わない人の格差が問題にもなったのだが、アンケートが立てられることによって、無記名で数量的に学級全体の意見が分かるとともに、コメントを学級会に持ち込むことで、発言しない児童の意見が決定に大きく関わることにつながった。音楽集会や委員会など計26件のアンケートにより、他者評価を受け止め、問題解決に向かう姿があつた。

学級の問題は、SNS と話し合いを併用することで、発言権の強さにかかわらず総意で意思決定しようとする姿が見られた。学級編成があつた1学期の実態として、最も切実な学級の問題を解決するとともに、固有に話したい内容については細分化されたグループで密なコミュニケーションが図られたといえる。

卒業作文の書き出し			
日付	2013年11月28日(木) 14時57分	作成者	Tomomo・ω・
<p>ああ。本日二回目のため息。周りを見渡しても、誰もいない。そう、今は5年生最後の昼休み。なぜ誰もいないかと言うと、クラスが変わる最後におにごっこをみんなでしょう、という話もちあがつたからだ。もちろん、私は呼ばれなかったわけではない。みんなが「最後なんだし今日ぐらいは、…」と何回も声をかけてくれた。それでも私はおにごっこには行かない。～中略～ 最後の日だということもあり、教室には私以外の誰もいなかった。だから、ため息をついていたのだ。</p> <p>それと比べて一年たった今はどうだろうか。</p> <p>私も、みんなも、変わらないが変わった。私も昼休みにバレーボールやバスケットボールをしに遊びに行くようになり、まわりにはにぎやかな笑い声があふれている。こうやって考えてみると1年がたったのだな、と改めて思った。この一年間、いろんなことがあつた。</p>			
めっちゃおもしろい! 小説や!!			
2013年11月28日(木) 15時08分 りょうぼん			
スバラシ!			
2013年11月30日(土) 11時50分 ハーレキン			

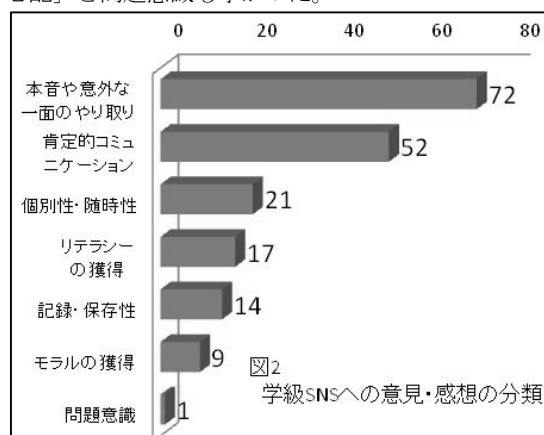
3. 3 情報の共有や意見交流の場としての活用

日記やコミュニティによる意見交流だけでなく、作成したPVや図工作品など、様々な作品を共有した。

上記のように、コンピュータ上で卒業文集の執筆を行った。書き出しや構成を工夫し、将来の自分やお世話になった先生方、お家の方に思いや考えが伝わる文章にしようと推敲した。ブログで行ったことにより、コピーやペーストで構成を簡単に入れ替えられるとともに、開いている時間に家庭でも書き加えたり、書き直したりする様子が見られた。また、自然にお互いの文章を読み合い、参考にし合ったり、コメントでよいところやアドバイスをやり取りし合ったりする場としてマゴコロブログが機能した。SNSを通じて肯定的なコミュニケーションを行いながら、目的意識や相手意識が明確な発信を表現したり、相談したりすることで、自然に相互作用を促す機能として働いた。

4. 成果と課題

SNS 活用の感想をアンケート調査した。(複数回答可、図2)。「あまり話さない友達とかかわれる」、「言いつらいことを書ける」、「意外な一面がわかる」といった本音を語れると捉えているものが最も多かった。「コメントをもらえてうれしい」、「家でもできる」といった肯定的なコミュニケーション、個別性・随時性が続く。リテラシーの獲得、振り返りができる記録性も挙げられた。4 間法では全員が「非常に続けた」と肯定的であったが、「ネット上のいじめとかが心配」と問題意識も挙がった。



SNS を通して社会性を発揮し、本音でかかわりながら、道徳的判断をもって自分たちの課題を解決するようになったことには、①児童の自由度を保障されたこと、②肯定的なコミュニケーションが保障されたことの2点が考えられる。①については、教師が制約せずに問題が起こる都度、話し合っ解決してきた。全員が今後も続けたい自分たちのSNSだからこそ「自分さえよければ、今さえよければ…」とならず、自らの心と向き合った道徳的判断につながったと考える。②については、他の子どもの道徳的判断で肯定的かつ適宜個別的なかわりを保障され、安心して本音が出せる場となった。普段あまり発言しない児童が SNS で大きな影響力をもったり、話し合いで意見を取り上げられたりすることで、かかわりを促し、社会性の基盤になったと考えられる。

今回、道徳的心情や社会性がどの程度、どのように育まれたかを明らかにできなかった。今後、SNS 活用を継続し客観的な変容とその要因を明らかにしたい。